

Alumni

vol.11



岡山大学 Alumni
(全学同窓会) 会報

WEB版

01

卒業生インタビュー「自分の現在地」①

小林章子 「RSK山陽放送」

いつも挑戦を楽しんでいます。

Contents

03 | 岡山大学ホームカミングデイ2024
第12回 Alumni(全学同窓会)総会開催!!

05 | 岡山大学Alumniに寄せて
岡山大学Alumni(全学同窓会)理事 難波徳郎

11 | アクティブ岡大人 [桃太郎のからくり博物館館長、ちくわ笛奏者 住宅正人]

06 | Alumni事業紹介
・支部活動活性化支援
・学生課外活動支援
・グローバル人材育成支援
・ボランティア活動支援

12 | 学部等同窓会からのお知らせ

卒業生インタビュー「自分の現在地」①

いつも挑戦を楽しんでいます。



小林 章子

RSK山陽放送株式会社 報道部[1997年経済学部経済学科卒業]

[こばやし あきこ]岡山市出身。1997年RSK山陽放送入社、テレビ「VOICE21」、「RSKイブニングニュース」、ラジオ「歌のない歌謡曲」、「朝耳ラジオ55」などを担当。記者、ディレクターとして番組制作も手がけ、2022年からはラジオ「永瀬清子の世界」の構成・朗読などを担当。2024年、映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」にて主人公石村嘉成の母親役で俳優デビュー。一男一女の母。

RSK山陽放送アナウンサーでお馴染み、小林章子さんは岡山大学の卒業生です。放送局に入社後アナウンサーとしてだけではなく、記者やディレクターとして番組制作にも携わり、2024年には映画に俳優として出演しています。マルチに活躍し続けている小林さんにご自身の生き方と人生観について伺いました。

日常の中にあった岡山大学

幼少期、岡山大学の近くに住んでいたこともあり、敷地内で遊んだり昆虫採集するなど、とても身近な存在でした。

高校在学中、県庁職員の父の影響もあり、公務員を志し岡山大学への挑戦を決意したものの、数学が苦手な、塾に通っていなかった私は自習に加え放課後に職員室を訪ねては先生に教わり、最終的には得意科目となり、数学の配点が高い経済学部を受験し、合格しました。

入学後は、親身な指導でゼミ生に慕われていた中村良平教授のゼミで学びました。RSKに入社後も経済関連のニュース取材などでたびたびお世話になる機会があり感謝しています。学びについては想像以上に自主性を求められ、今思うと自分を律すればもっと学びを得られたのかも知れないとも思っています。

公務員志望からの目標転換

在学中にはアルバイトを多く経験しました。ケーキ店、家庭教師、空港、税務署、イベント



津島キャンパスのシンボル時計台の前で。寒風の中、笑顔で撮影に応じていただきました。



実際の写真は「青いライオン」Instagramでご確認ください。

インタビュー終わりに、学長の蝶ネクタイを模した、ガクチョウネクタイを手に取り写真を撮る小林さん。

ト運営など、多様な仕事を知っていく中で、人の経験談や考えなどを聞くことがとても面白くて「インタビュを仕事にしたい」という思いが芽生え、大学3年の夏、公務員ではなくアナウンサーの道に挑戦することを決断しました。就職活動では苦労しながらも努力を重ね、最終的にRSK山陽放送に入社してアナウンサーとして歩み始めます。テレビ・ラジオの情報番組やニュースなどを担当した後、報道部の記者やテレビディレクターとして番組制作も経験しました。どの仕事も取材を通じて多くの分野の人々と関わり続け、学び続けることの大切さを実感しています。

映画出演という新たな挑戦

RSKの役員から想像もしなかったオファーがあり、映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」で、自閉症のアーティスト・石村嘉成さんの母、有希子さんを演じることになり、演技は未経験でしたが、ここでも挑戦を選びました。台詞がナレーション風にならないように苦労



「普段は取材をする立場にいますので、インタビューされるのは新鮮です。」と仰りながら、話しやすい空気をつくってくださいました。

しましたが、「表情や声色、動作で伝えよう」という演技指導をいただき、自分の中に有希子さんの気持ちを再現するような想いで取り組みました。恐縮ながらも、共演した檀ふみさんから「緻密に取材して役を作るといのは、記者経験があるからこそね。」との評価をいただき、演じることで社会に伝えたいメッセージを新たな形で発信できることを実感しています。

いつも挑戦を楽しんでいます

公務員からアナウンサーへの目標転換、アナウンサーから制作サイドへ、そして映画出演。私は「新しいことに挑戦することを楽しもう」という姿勢で臨んでいて「誰にでも最初の一步がある」という信念のもとに行動しています。

現代はSNSが発達し、容易に知識を得ることはできますが、私は「情報が溢れる時代だからこそ、自ら行動し、人と直接関わるのが大切」と考え、現場での経験や対面

での交流を大事にしています。若い世代にも、臆することなく積極的に人との交流に挑戦して欲しいと思っています。

岡山大学とのつながりと今後の展望

卒業生に会うと、世代は違っても心の距離が近くなるように感じます。実は取材以前にAlumniとは関わりがあり、大学や同窓会の過去・現在・未来の繋がりを広げるお手伝いできたかと考えています。また映画公開後、宣伝活動のなかで、縁が生まれたり旧交を温めたりする機会が増え、こちらでもまた新しい繋がりが広がります。

大切にしている遠藤周作さんの言葉「人と人との出会いは必ずその痕跡を残す」を胸に、これからも多くの人と関わりながら、何歳になっても、何でも挑戦できる。まだ成長できる。という気持ちで、これからも年を重ねていきたいと思っています。



小林さんからのメッセージ

石村嘉成さんをドキュメンタリーとドラマで描く映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」。誰もが等しく内側に「ひかり」を秘めていることに気づいていただくと嬉しいです。

©2024 RSK山陽放送株式会社



上映情報は公式Webサイトへ●<https://www.rsk.co.jp/cinema/>

同窓生交流イベント 「おかえりランチ会」開催

ちくわ笛奏者である住宅正人様（法学部卒業）をお迎えし、岡山の味覚たっぷりの特別弁当を味わいながら、懐かしい思い出を分かち合い、楽しいひと時を過ごす会を開催しました。

「クイズ研究会」に所属している在学生にも参加いただき、クイズを交えながら岡山大学の75年の歴史を振り返りました。



住宅様のちくわ笛演奏



クイズを交えて交流

本企画をとおして、同窓生はもう多くの方々に、岡山大学とのつながりを改めて感じていただき、これからは Alumni（全学同窓会）と共に岡山大学を応援していただきたく実施しました。ホームカミングデイ当日にも岡山大学生協様にご協力いただき販売いただきました。



75周年記念ラベル

純米大吟醸「おお岡大」 『限定記念ラベル』作成

2024年11月2日（土）、同窓生や地域・関係者のみなさまをキャンパスにお招きし、大学の近況にふれ、同窓生、在学生、教職員との交流を深めることを目的として「岡山大学ホームカミングデイ2024」が開催されました。

まず、メイン会場である津島キャンパスの創立五十周年記念館（金光ホール）にて、「オープンングセレモニー」が実施され、特別映像やグリーンクラブの歌声が会場にお越しいただいた方々を迎えてくれました。

オープンングセレモニーに続いて、岡山大学や社会に貢献した同窓生や教職員を顕彰する「金光功労賞」金

光奨励賞」授賞式が執り行われました。本顕彰事業は、篤志家の故金光富男氏（2期卒業生）のご寄付により創設され、同窓生と大学の「つながり」を象徴する重要な事業として、開始以来ホームカミングデイで表彰式が行われていました。

また、今年は岡山大学創立75周年を記念し、同窓生と在学生の絆を深めることを目的に実施された「おかえりベンチ」設置セレモニーが盛大に開催されました。寄付者代表の千原様（前歯学部同窓会会長）からは心温まるメッセージをいただき、那須学長は「『おかえりベンチ』は、本学を応援してくださるみなさまを『おかえり』と迎え、学生たちにとっては新たな思い出を刻む場所となります」と寄付者への深い感謝の意を表されました。会場に集まった寄付者をはじめとする約150人の関係者には、同窓生と岡山大学の絆の強さを改めて実感された様子でした。

なお、オープンングセレモニー前に開催された「第12回岡山大学 Alumni（全学同窓会）総会」にも例年を上回る多くの方々にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今後も、岡山大学 Alumni（全学同窓会）では、ホームカミングデイを支援し、同窓生と在学生・大学との交流の輪がさらに広がり、充実するものとなるように努めてまいります。来年のホームカミングデイにもぜひご参加いただき、ともに岡山大学や在学生を応援していきたいと思います！！

HOME COMING DAY 2024. 11.2 SAT.

「岡山大学ホームカミングデイ2024」
「第12回岡山大学 Alumni（全学同窓会）総会」
が開催されました！！

岡山大学本学創立75周年 プロジェクト「おかえりベンチ」

本事業にご賛同いただいた寄付者様のご支援により、津島東キャンパスの「桜広場」に新しいベンチ4台が設置されました。各ベンチには寄付者からの心こもったメッセージが刻まれていきます。この4台のベンチは、世代を超えて受け継がれる「岡大愛」の象徴です。岡山大学の過去と未来をつなぐ架け橋として、在学生、同窓生、地域の方々をはじめ本学を応援してくださるみなさまが集い、新たな思い出を作り、絆を深める場所となることを願っています。



発案者である前歯学部同窓会長の千原様と那須学長



桜広場に設置されたベンチ



医学部「保健学科看護学専攻ホームカミングデイ」



工学部「交流会集合写真(機械工学コース)」

**各学部等の会場でも
さまざまなおもてなしの
行事が開催！**

世代を超えた交流や懐かしい再開など、ホームカミングデイならではの企画が実施されました。



工学部「研究室公開
(ロボティクス知能システムコース)」



経済学部「退職教員を囲む会」



農学部「公開シンポジウム」



薬学部「同窓生シンポジウム」



GDP「卒業生による講演」



理学部「地球科学科大同窓会(懇親会)」



歯学部「同窓生とのシミュレーション実習」



出店会場の様子①

**現役学生・卒業生など
様々な出店が盛況！**



在学生による出店



在学生・教員と関係団体による出店



卒業生による出店



退職教職員による出店



キッチンカーによる出店



出店会場の様子②

**ステージでは
表彰や発表が続々と**



グリーククラブによる合唱



金光功労賞、金光奨励授賞式／受賞者記念撮影

News!

**ホームカミングデイ
2025**

HOMECOMING DAY 2025

**2025年11月1日(土)
開催決定**

創立30年を迎えた 環境理工学部 の 不易流行

な ん ば と く ろ う
難波 徳郎

◎岡山大学Alumni(全学同窓会)理事

■学部の歩み―不易―

環境理工学部は、拡大する環境問題に対処し、自然と人間が調和した豊かで快適な環境の創造に貢献する人材の養成を目的として、「環境」を教育研究の柱とする国立大学では最初の学部として平成6(1994)年10月に設置されました。翌年4月に1期生を迎えて以来、創立30周年となる令和6(2024)年3月までに4043人が卒業しました。この間、平成19(2007)年には、当時アジアで唯一のユネスコチェアが岡山大学に設置され、本学部の阿部宏史教授がチェアホルダー(責任者)を務め、国内外の高等教育機関と連携し、ESD(Education for Sustainable Development)活動を中心に推進しました。その後も、本学部の特色でもある実践型環境教育を充実・発展させるなど、環境理工学部が本学のESD活動を牽引してきたと言えます。

■学部の歩み―流行―

岡山大学は、令和元(2019)年に公表した岡山大学ビジョン2.0の中で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として掲げられたSDGs(Sustainable Development Goals)を本学全体で取り組むべき課題と位置付けました。環境理工学部がこれまで担ってきた環境教育をESDからSDGsに発展させようとしていた時期でもあったため、岡山大学は環境理工学部と工学部をひとつの学部にとまとめることで、分野横断的な取り組みをさらに拡大し、新学部を中心としてSDGsの達成を目指すことにしました。これにより、令和3(2021)年4月に環境理工学部と工学部は再編統合され、新工学部が設置されました。環境理工学部の学生募集は停止され、令和2(2020)年4月に最後の入学生を迎え、その学生のほとんどが令和6(2024)年3月に卒業しました。

■新たな歩みに向けて

令和6年10月には、創立30年を記念し、記念誌を発刊するとともに、記念式典、祝賀会を開催しました。準備にお力添え頂いた教職員、同窓生の皆さまには大変お世話になりました。本稿を借りて御礼申し上げます。祝賀会では、那須学長から「環境理工学部には、その設立の理念を新しい工学部に継承しながら(不易)、主体的に変容し続ける先駆者として人類社会の持続的発展に引き続き貢献していただきたい(流行)」との祝辞を賜りました。この言葉を胸に刻み、学部同窓生の皆さまと共に、新たな30年に向けた第一歩を踏み出したいと思えます。



PROFILE

1990年 岡山大学工学部助手
1994年 同環境理工学部助教授
2006年 同環境学研究科教授
2019年 同環境理工学部長
2023年 同環境理工学部長
(工学部長と兼任)



学部創立30周年記念祝賀会(令和6年10月)にて
那須学長祝辞



学内水循環施設(ビオトープ:誕生池) 平成20年竣工



〈アラムナイ〉

Alumniの事業紹介

01 支部活動活性化支援 02 課外活動支援 03 グローバル人材育成支援 04 ボランティア活動支援



年2回のゴルフコンペ

全学同窓会(アラムナイ)が、スタートして12年目となりますが、東京支部では、年1回(7月)の東京支部総会、3ヶ月に1度の岡山大学懇話会、年2回のゴルフコンペと活動を増やしております。

東京支部

Chapter

01

支部活動活性化支援

学部を超えた交流と親睦を図ることを目指して、支部設置及び支部活動の支援に取り組んでいます。現在設置されている5支部の活動についてお知らせします。

昨年の東京支部総会では、130名の参加があり盛況に実施できました。

アラムナイ活動の目的

●**現役の社会人**

業界を超えた人的ネットワークの場として自己研鑽の場として。

●**現役の学生**

就活等の活動の一環としてより良い学生生活を送るための支援、情報交流の場として

●**シニア世代**

一市民として、より良き活動に情報支援の場、または、現役社会人のアドバイスの場として

以上の目的に加えて、現在の岡山大学の素晴らしい研究、実践の定期報告も毎回の楽しみでもあります。是非、学部を超えて、お気軽にご参加ください。

メールアドレス

takehara@futuredesignlab.jp

(東京支部事務局長 竹原啓二)



令和6年7月 東京支部総会(会場の様子)

愛媛県支部

愛媛県支部の総会が、令和6年10月26日（日）リジエール松山において開催されました。今回は、6学部44名、昭和34年卒から平成20年卒までの幅広い年代の多くの方が参加され、大いに盛り上がりしました。

まずは、恒例の岡山大学学生歌を全員で斉唱しました。貞本和彦代表幹事（医学部昭和34年卒）の開会挨拶の後、大学からお越しいただいた、菅誠治理事・上席副学長、鈴木孝義副学長、高橋伸二総務・企画部長にご挨拶いただき、野志克仁松山市長（経済学部平成2年卒）からは来賓挨拶をいただきました。

続いて、特別講演会として最初に那須



令和6年10月 愛媛県支部総会（集合写真）

保友 岡山大学学長（医学部昭和56年卒）から「岡山大学の近況と目指す方向について」という演目で、続いて篠原真司愛媛県防災局長（工学部平成元年卒）から「道路設備の長寿命化と防災対策について」という演目で、最後に柚木茂一般財団法人永頼会松山市民病院院長（医学部昭和57年卒）から「松山市民病院紹介—設立70周年（2年後）にむけて—」という演目でご講演をいただきました。各講演ともにとっても知見に満ちたものでした。改めて厚くお礼申し上げます。

来年度も開催予定ですので、皆様のご参加お待ちしております。

（愛媛県支部幹事 吉良美知宏）

東海支部

東海支部では、大学と東海地域の同窓生との交流を目的とした「東海地区懇話会」を令和6（2024）年11月に名古屋市内にて実施しました。



令和6年11月 東海支部懇話会（集合写真）

東海地域では、コロナ禍以降5年振りに行うイベントでしたが、15名の同窓生にお越しいただき、和やかな雰囲気の中、参加者は旧友との再会や新たな交流を楽しみました。また、会のご案内に對しても、多くの同窓生やそのご家族様からのお返事をいただき、改めて東海地域のみなさまと岡山大学の絆の強さを実感いたしました。

この関係を大切にしていくとともに、活動の輪をさらに広げていくため、今後は「東海支部総会」開催を1つの目標とし、引き続き東海支部幹事のみならずと協力し東海地域の同窓会活動の活性化に努めてまいります。

総会開催が決定しましたら、広く同窓生のみならずにご案内させていただきますので、ぜひ、ご学友をお誘い合わせのうえ、ご参加いただけますようお願いいたします。

（Alumni事務局）

関西支部

関西支部は令和元(2019)年8月に支部設立総会を開催し、以後毎年1回、大阪市内のホテルを会場にして支部総会及び懇親会を開催しています。コロナ禍のため令和2年、3年の総会は断念し、令和4年、5年に第2、3回総会・懇親会を開きました。昨令和6年10月にはKKRホテル大阪において、那須学長ほか大学からのご来賓を含め49名のご参加を得て第4回総会・懇親会を開催しました。



令和6年 関西支部総会(集合写真)



司会を務めた桂阿か枝氏
(農学部卒業生)

総会にはほとんどの学部から卒業生が参加していますが、参加者のない学部もあり(昨年の場合薬学部)、「全学」同窓会としてはやや寂しいところです。また、学部によるばらつきが大きい(法、経、工は多いが参加者2、3名の学部もある)ことも今後の課題です。学部だけでなく、サークルによる縦横のつながりから参加者を増やしていくことも必要ではないかと思っています。

関西支部は設立以来高村順久(法文S44卒)が代表幹事でしたが、昨年総会をもって退任し、新代表幹事に保智己(理・生物S54年卒、奈良女子大名誉教授)を選任いたしました。保新代表幹事に対しご支援ご協力をお願い申し上げます。

本支部第5回総会・懇親会は令和7(2025)年10月26日(日)午前12時より京都の「KKR京都くに荘」(京都市上京区河原町通荒神口上る東入る東桜町27-13)にて開催します。奮ってご参加いただき、同時に秋の京都を楽しんでください。

(関西支部幹事 高村順久)

広島支部

令和6(2024)年総会・懇親会を開催しました。
広島支部は、平成27(2015)年9月に全国3番目の支部として設立し、お陰様で令和6年9月に満9周年を迎えることができました。

途中、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和3(2021)年9月から3年間にわたり、総会・懇親会などの諸事業を中止していましたが、一昨年9月に総会・懇親会を再開し、昨年10月4日に再開後2度目となる総会・懇親会を広島市内のホテルで開催しました。

参加者は、40名弱の会合となりましたが、広島支部役員の協力と熱意により、和やかな会合となりました。

当日は、岡山大学からは那須学長、管理事・上席副学長、鈴木副学長にも出席いただき那須学長からは総会終了後に「岡山大学の近況と目指す方向について」と題する講話をいただきました。講話終了後の懇親会では、来賓や同窓生同士の交流で、楽しく、和気あいあいの懇親会となりました。

今年度の最後となる事業は、令和7(2025)年2月5日(水)午後6時から、「広島支部交流会」を広島市内で開催しました。

(広島支部事務局 神野恭次)



令和6年 広島支部総会(会場の様子)

Chapter 02

課外（クラブ）活動支援

学生生活がより有意義なものになるよう、課外（クラブ）活動への支援を実施しています。支援を行ったクラブについてご紹介します。

馬術部主将の工学部3年、福田捷真です。

今回、学生課外活動支援に厩舎の折れそうな柱を新しいものに変えて頂きました。今まではいつ厩舎が壊れてもおかしくない状態だったので常に不安でしたが、おかげで部員一同安心して課外活動に励むことができるようになりました。

われわれ馬術部は全国大会に出場することを目的としており、実際に4年連続全国大会に出場しているのですが、これからはより一層力を入れ、全国大会への出場はもちろん、そのうえで結果を残せるように頑張りたいと思います。現在部員は15人と決して多くはないので戦力増強のためにも少しでも多くの1年生に入ってもらえるよう、努力もしていきたいです。



新しくなった厩舎の柱

馬術部



馬術部 集合写真

■昭和29（1949）年創部
■最近の成績

- ・全日本学生馬術大会2024 全日本学生賞典総合馬術競技会出場
- ・全日本学生馬術大会2024 第三課目A第7位
- ・令和6年度全日本学生馬術選手権大会 第16位、22位、29位
- ・2024年度夏季中国四国地区学生馬術大会 学生賞典馬術馬術競技 第2位
- ・2024年度夏季中国四国地区学生馬術大会 馬術馬術競技第三課目A 第1位
- ・中国四国学生レースホースカップ100 第1位
- ・中国四国学生レースホースカップ90 第2位
- 部員数：15人

Chapter 03

グローバル人材育成支援

岡山大学が取り組むグローバル人材育成をさらに推進するため、より多くの学生が海外留学や国際的な大会参加等に挑戦することができるよう、経費の一部を支援しています。支援対象となった学生の活動報告をお届けします。

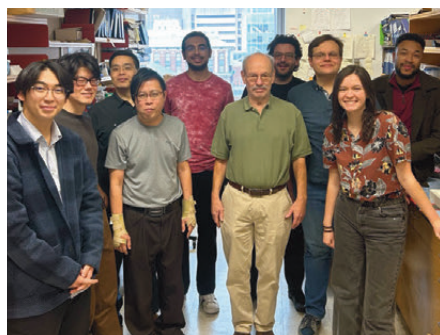
初めまして。医学科3年の橋野眞光人と申します。

この度、私は「トビタテ！留学JAPAN」の奨学金を利用し、米国「ニューヨークにあるコロンビア大学で約3ヶ月間の研究留学をしてまいりました。コロンビア大学では、「膵臓癌におけるlncRNAから発現する新規タンパク質」をテーマに研究に取り組みました。

今回の留学を通じて、世界最先端の研究を最高の環境で行うことができただけでなく、コロンビア大学に通う学生たちと交流し、多様な文化や価値観に触れる貴重な経験を得ることができました。また、「トビタテ！」のプログラムを通じて、世界で活躍し、より良い未来を築くという共通の目標を持つ、さまざまな夢や目的を抱く同年代の仲間たちとつながることができたことも、大きな財産となりました。



コロンビア大学



ニューヨーク コロンビア大学 3ヶ月間の留学



トビタテ！留学JAPAN

さらに、トビタテ支援者である花澤菊花様にご招待いただき、『IROHA』という日本人コミュニティのパーティーに参加する機会もいただきました。そこで、世界で活躍される著名な方々とお話する貴重な時間を持つことができ、非常に刺激を受けました。

学生である私にこのような貴重な経験をさせていただいたことに、心より感謝申し上げます。この度のご支援誠にありがとうございました。

Chapter
04

ボランティア活動支援

在学生等が、積極的にボランティア活動に参加することができるよう、参加費の一部を支援しています。支援を活用し、ボランティアに参加した学生(団体)の活動報告をお届けします。



輪島市 床下清掃

岡山大学被災地支援団体おかやまバトンは、2024年8月9日～12日の4日間で岡山県青年団協議会様主催の能登半島復興支援ボランティアに参加させていただきました。主な活動としては輪島市で瓦礫撤去、珠洲市で縁日を行いました。震災から半年以上経過していましたが、まだまだ元通りではなく、道路の地割れや倒壊した建物などがそのままの状態が多くありました。しかし、縁日では地元の方がたくさん来てくださり、子供も大人の方も笑顔の溢れる楽しいものになりました。



珠洲市 ももたろう市

元気を届けに行ったはずがたくさん元気をもらいました。現地の方が前を向いているなか、ボランティアで訪れた我々が被災地の様子を見て気を落としている場合ではないと気づかされました。

この活動で得た新たな視点や経験を普段の活動に還元し、成長していきたいです。

岡山大学被災地支援団体おかやまバトン
工学部2年 宮地真莉彩



おかやまバトン 集合写真

2011年に発生した東日本大震災をきっかけに、「何かしたい」という思いを持った岡山大学の学生と教職員を中心に発足。現在の団員数は24名。これまでは、福島県、宮城県、熊本県、倉敷市真備町など多くの地域で被災地支援活動を実施。最近では「災害に強い岡山づくり」への活動に力を入れており、小学生・中学生を対象にした防災教室を開催。

岡山大学被災地支援団体
おかやまバトン

会費納入のお願い ～みなさまの応援が岡山大学の未来を支えます。～



みなさまから納入いただく会費により様々な支援事業を実施しております。岡山大学の発展と在学生への支援、岡大ネットワーク強化のため、ぜひ会費によるご支援にご協力をいただきますようお願いいたします。

終身会費：10,000円

すでに納入いただいた方は、改めて納入いただく必要はございません。会費納付方法の詳細につきましてはHPをご覧ください。

<https://alumni.soumukikakusoumu.okayama-u.ac.jp/about/payment/>





手品机(桃太郎のからくり博物館)

「心豊かで優しい世の中になるように」、
そんな願いでちくわ笛演奏を続けています。

桃太郎のからくり博物館館長—ちくわ笛奏者—伝承民謡研究者—気象予報士

すみたく まさと
住宅 正人

「ちくわ笛演奏家」としては、20年位前から、バラエティー番組等メディアに多く登場するようになりましたが、実は岡山大学法学部の卒業生です。

卒業後はバブル景気真只中。求人が殺到していて、複数の内定を得た学生がたくさんいました。「就活不要」の幸運な時代でした。自身の社会人としてのスタートは、地元の観光(遊園地)企業への就職。瀬戸大橋の開通とも重なり、多くの観光客を迎え接客業務に明け暮れました。やがて園内ショーのMC(司会)も任せられ、エンタテインメント系の仕事に関わる契機となりました。

数年後、地方公務員(岡山市職員)に転職。税務、工業団地開発、東京事務所(中央省庁との連絡折衝)等様々な業務に携わったのち、観光協会に出向。当時岡山に進出していた企業(吉本興業)の協力も得て、観光客誘致・PR業務に従事することになりました。

大学時代からの自身の趣味のひとつである尺八・篠笛の経験も活かし「岡山産ちくわ」を演奏して観光情報の発信を試みたところ、あつという間に全国で話題になりました。

その後、家業の都合もあって岡山市役所を退職。倉敷美観地区で観光資料館(桃太郎のからくり博物館)を創業し、現在も館長を務めています。その館内でも、お客様のご要望に応じて、連日ちくわ笛を披露しています。

初期には「ちくわからピーと音が出た」という程度の一発芸。やがて音階を出せるようになり、音域



講演会の様子

も広がり、調律(かじって音程合わせ)精度も向上、今ではレパートリーは数千曲。ちくわだけでなく野菜や冷凍イカまで演奏するようになりました。

演奏会場では幼児から「可愛いー」と手を振られることもしばしば。まさに「生ゆるキアラ・ちくわのひと」…人を楽しませるのが天職だったのだなあと感じます。

法学部で、人と社会のあり方を学び、堅い仕事を目指していた時期もありましたが、気が付けば、当初の想像とは異なるユニーク人生と

なりました。それは、折々に関わる人たちや周りの環境が、進む方向を導いてくれた結果なのだと、納得しています。

還暦も過ぎ、現代の音楽を追いかけていくのは大変ですが、それでも「時代の感性」を失わないよう、進取の気概で最新曲にチャレンジしています。

現代は、情報も感情も変化の激しい時代。そして「論破」ブーム。「鋭いツッコミ」爆笑が賞賛されています。一方、ちくわ笛が志向するのは爆笑よりも微笑み。

心豊かで優しい世の中になるように、ふんわりとした笑顔が溢れるように、そんな願いを込めて演奏活動を続けています。



PROFILE | Masato Sumitaku

- 昭和39年2月 岡山県出身
- 昭和62年3月 岡山大学法学部法学科 卒業
- 昭和62年4月 鷺羽観光開発株式会社 入社
- 平成元年4月～ 岡山市に奉職(19年1月まで)
- 平成19年3月 桃太郎のからくり博物館 開設(現在に至る)
- 平成20年10月 岡山県知事選挙に立候補(310,677票獲得/落選)

学部等同窓会からのお知らせ

法文経学部同窓会

島根支部では、毎年9月上旬に支部総会・懇親会を開催し、会員相互の情報交換の場となっています。参加者は30名程度で年齢は20代から80代にわたります。

昨年の支部総会で、日本学生三大駅伝のひとつである「出雲駅伝」に岡山大学陸上部が初出場するという情報提供があり、大会当日はスタートとゴール付近で、大学応援団の皆さんと一緒に、有志が大きな声援を送りました。

私立大学が上位を占める中、国立大学4校中2番で同窓生として誇らしく思いました。

岡大生の活躍を目の当たりにし、若い世代が参加しやすい支部同窓会を目指そうと意を新たにしました。支部同窓会は他学部の方もご参加いただけます。お待ちしております。

(島根支部長 長谷和典)



スタート地点の出雲大社前でエールを送る応援団

教育学部同窓会

教育学部同窓会は、会報や会員名簿を発行して同窓会員のつながりをサポートしています。また、在学生への支援活動も進めており、学校現場で働く先輩をお招きして教職の魅力などを語っていただく「教職力イダンス」への協力、「学業優秀表彰」への支援などを行っています。さらに、毎年5月には総会行事を開催し、充実した情報交換を目指しています。令和7年度の総会行事、懇親会へのご参加もお待ちしております。

●令和7年度総会行事

日時／令和7年5月10日(土) 10時～

会場／ピュアリティまぎび(岡山市北区下石井2-6-21)

講演／鍵本芳明先生「夢育ーこれからの教育の目指すものー」

懇親会費／6千円

教育学部同窓会創立25周年記念総会行事(令和6年実施)の様子



教育学部同窓会創立25周年記念総会行事(令和6年実施)の様子

ほおゆう

(放射線技術科学専攻同窓会)

保健学科放射線技術科学専攻同窓会「ほおゆう」は、2年ごとに総会と懇親会を開催しています。コロナ禍の2020年に宇野弘文新会長就任以降、4年ぶりに岡山大学ホームカミングデーとのコラボ企画として2023年10月21日にハイブリッド形式で総会を開催しました。2024年度は、定期的に開催している評議員会を8月3日(土)に岡山大学病院内にて開催しました。

2025年以降も常に新しい同窓会のあり方を模索し、執行部「同「ほおゆう」を通じて人のつながりを継続していきながら、喜びを分かち合える温かい「ほおゆう」を目指し、活動して参ります。国連のプロジェクトであるSDGs同様、持続可能な同窓会でありたいと心より願っています。

【ほおゆうホームページ】

<http://hooyuu.main.jp>



ほおゆう総会 ホームカミングデーコラボ企画参加者集合写真(令和5年10月21日:保健学科棟講義室)

あらたま会

(検査技術科学専攻同窓会)

岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻同窓会の「あらたま会」では、4年毎に総会の後に懇親会を開催していました。今後は、鹿田キャンパスの保健学科棟にて開催されています。岡山大学ホームカミングデーの主担当が検査技術科学分野へ3年ごとに回ってくるのに合わせて総会、懇親会を開催する予定です。ただ、会則では総会を4年に1回開催するとなっておりますので、総会を開催し審議していただいて会則の変更を行ふ必要があります。3年ごとの開催となりましたら、今まで以上に同窓会会員同士の交流を深めていきたいと考えております。

あらたま会総会・懇親会のご案内をホームページ等でもさせていただきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

【あらたま会ホームページ】

<http://ww31.tiki.ne.jp/~aratama/>

【連絡先】aratamakai@okayama-u.ac.jp



第7回あらたま会懇親会集合写真(令和5年3月19日開催)

工学部同窓会

同窓会の活動は、①各系・コース同窓会による学生と卒業生の交流活動、②岡山大学ホームカミングデイでの工学部同窓会報告会・懇親会の開催、③関東・関西・岡山支部の活動支援、④会報発行や名簿管理等です。

2021年4月に工学部と環境理工学部が統合されて新生工学部となり、2025年3月には最初の卒業生が旅立ちます。工学部同窓会もさらに大きな組織として、同窓会活動を実施して行く予定です。

令和6年度は、大学祭とホームカミングデイが同時開催された2024年11月2日(土)に、報告会を共育共創コモンズで開催しました。報告会終了後には、懇親会を学内施設のピーチユニオンで開催しました。これを工学部同窓会ホームページで報告しています。



同窓会報告会

薬友会(薬学部同窓会)

岡山大学薬友会は、本学薬学部の同窓会組織で、卒業生、在学生、教職員により構成されています。ホームページに加え、年一回会報を発行、5年に一度の会員名簿発行などにより、薬学部の近況、会員情報の共有を図っています。

交流イベントとしては、新入生相談会、ソフボール大会、またホームカミングデイでの同窓生シンポジウムを開催しております。現在、学生幹事は10名以上にも及び、学生間交流も活発になってきました。本年もホームカミングデイにて総会、また同窓生シンポジウムを開催予定です。



同窓生シンポジウムの様子

助産師同窓会

岡山大学助産師同窓会は、昭和30年(1955)7月に岡山大学医学部附属助産婦学校が開校されてから今年までの70年間に卒業および修了した助産師の集まりであり、会員数は1,000名を超えています。

令和6年の年末に、紙媒体では最終となりました。会誌10号を発送しました。今後の活動は、ホームページにて報告させていただきます。

次回同窓会総会は、令和10年(5年毎の開催)の予定です。今後とも本会の運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【岡山大学助産師同窓会ホームページ】
<https://okada-i-nw-dosoukai.com/>

理学部同窓会

理学部同窓会は、学部同窓会として平成24年3月に発足し、学部卒業生、関係大学の修了生および関係者から構成されています。

7月には、昨年に引き続き理学部同窓会関東支部の総会を開催しました。今回は初めての理学部単独開催として、岡山大学Alumni(全学同窓会)・東京支部の合同総会終了後、過去最高の参加者数で交流を深めました。

10月には「理学部同窓会会報」第13号を発行しました。会報は同窓会設立以来、毎年1回、会員同士の交流を深め、会の発展の一助となることを願って発行してきました。今後ともよりよい会報を発行したいと考えていますので、「意見」「要望」をお待ちしています。

11月には、岡山大学ホームカミングデイに合わせ、理学部地球科学科大同窓会も開

催されました。

今後とも、同窓会をさらに充実・発展させられますよう、ご支援をお願い申し上げます。

歯学部同窓会

2025年1月現在、歯学部同窓会の正会員数は約2,300名で、全国各地で歯科医療や行政、研究、教育など幅広く活躍しています。

本部を中心に岡山県支部、広島県支部、島根県支部、兵庫県支部、大阪府支部、奈良県支部、京都府支部、滋賀県支部、和歌山県支部、北海道支部、愛知県支部、香川県支部、愛媛県支部、徳島県支部、鹿児島県支部、関東地区支部、東北地区支部、東海地区支部、北陸地区支部、中国地区支部、四国地区支部、九州・沖縄地区支部、大学支部が設立され、充実した活動を展開しています。また、毎年7月に同窓会役員連絡協議会を開催し、同窓会本部と各支部の役員が集まって親睦を深め、密接に交流しています。



歯学部同窓会役員連絡協議会(令和6年7月)

国際同窓会(OUIA)

岡山大学国際同窓会(OUIA)は2011年に発足し、世界に55支部(通信拠点を含む)が設立されています。これまで「協力を賜りました皆さまに改めて御礼申し上げます」。

OUIAでは、2021年度より学生スタッフを雇用し、Young Alumniの獲得に向け、留学生を対象としたイベントやSNSを用いた広報活動に力を入れています。2月には、茶道部と協力して「OUIA茶道ワークショップ」を開催。留学生は茶道部の学生と交流しながら、日本文化を学びました。また、11月には第14回国際同窓会総会を開催。世界中の同窓生との交流を深めました。

今後とも同窓生と本学をつなぎ、岡山大学のグローバル化に貢献したいと考えています。引き続き皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。



第14回岡山大学国際同窓会総会(記念撮影)

農学部同窓会

農学部同窓会は昭和59年1月に発足し、正会員数は2025年1月現在で約10,000名です。本会では、新入生に同窓会の活動と意義を説明して、入会を勧めています。大学での学びには①高度な教育を受ける。②独創的な研究に参画する。③先人が築いた人脈に加わる。という三つの意義があります。

同窓会は③の人脈を提供すべく学生会および農学部収穫祭への支援や会員情報の提供に取り組んでいます。就活においては、本学部の卒業生の採用実績がある企業は、採用のハードルが低くなるので本会を積極的に活用して頂きたいと思っています。

コースや学年を越えて人脈を広げる親睦活動を支援することで専門性を越えて社会で活躍できる人材育成を推進しています。



農学部収穫祭は市民も参加するオープンな学部祭です。

鶴翔会(岡山医学同窓会)

鶴翔会は、医学部医学科卒業生、大学院修了生及び在学生並びに医学部及び病院の医局員、教職員を会員とする岡山医学同窓会として設立され、医学部・病院と共に歩を進め、多くの会員が医学、医療の各分野で活躍しています。

●令和7年度鶴翔会総会

日時／令和7年6月7日(土)

場所／岡山プラザホテル

当日は、総会、講演会、懇親会が開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

※詳細は鶴翔会会報またはホームページにてお知らせします。

【支部活動】

各支部では、支部総会を開催し会員の研鑽と親睦を図る活動を行っています。詳しくは、お近くの各支部(鶴翔会HPへ掲載)へお問い合わせください。

【鶴翔会ホームページ】

活動内容やお知らせについて随時更新しています。是非ご覧ください。

<https://kakushoukai.oumed.okayama-u.ac.jp/>



医学部正門・鹿田会館
(鶴翔会事務局は1Fです)

ときわ会(看護学同窓会)

ときわ会は、令和4年に100周年を迎えました。大正10年に岡山医科大学附属医院産婆看護婦養成科が開設されてから、医学部附属看護学校、短期大学看護学科を経て医学部保健学科看護学専攻となりましたが、その校風は変わっていないと思います。今年は、4年に1回の総会が開催されます。会員の皆様の参加をお待ちしております。

●ときわ会総会

日時／令和7年8月2日(土) 10時

会場／ホテルグランヴィア岡山

【ときわ会ホームページ】

<http://tokiwakai.net/>



ホームカミングデイ2024の様子

NEWS

Alumni(全学同窓会)ホームページ リニューアルのご案内



『つながろう』『在学中も卒業後も』をコンセプトに、スマートフォンでも見やすいデザインに変更しました。Alumni(全学同窓会)だけでなく、学部等同窓会の情報も発信していく予定ですので、ぜひご覧ください。



<https://alumni.soumukikakusoumu.okayama-u.ac.jp/>



学都基金ホームページ リニューアル

誰にでも見やすく、わかりやすいサイトを目指し、デザインを一新。今後よりよい情報をお届けします。



<https://kikin.soumukikakusoumu.okayama-u.ac.jp/>



校友会Webサイトのご案内

校友会に所属している部活動(クラブ)の活動について、ご覧いただけます。



<https://support.st.okayama-u.ac.jp/clubs/>

INFORMATION

広報物について



「岡山大学Alumni(全学同窓会)会報 Vol.8」から電子版のみとなりました。

なお、過去に発行した「Alumni会報」や「アラムナイだより」は、岡山大学Alumni(全学同窓会)のHPに掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://alumni.soumukikakusoumu.okayama-u.ac.jp/about/brochure/>

住所変更等について

変更等がございましたら、「お問合せフォーム」もしくは「メール」にて下記事項をAlumni事務局までご連絡ください。ご連絡いただいた情報を所属されている学部等同窓会へも提供させていただきます。

【氏名(新旧)、住所等連絡先(新旧)、卒業学部、卒業年度】

お問合せフォーム <https://forms.gle/XELfWzkM6T2oVzj68>

メール ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp

お問合せフォーム



メール



WEB/SNS

岡山大学ホームページ

大学のニュースやイベントの最新情報を発信しています！
学生たちの活躍や
キャンパスの風景を発信しています。



<https://www.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学公式SNS

岡山大学公式SNS
大学のニュースやイベントの最新情報を発信しています。

X(twitter)



https://twitter.com/okayama_uni

facebook



<https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>

instagram



https://www.instagram.com/okayama_university/



発行：岡山大学Alumni(全学同窓会)事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 TEL: 086-251-7019 FAX: 086-251-7294

E-mail: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp URL: <https://alumni.soumukikakusoumu.okayama-u.ac.jp/>